

学力Bテスト講評！

	小問	問題形式	問題内容	所見
大問1 詩	1	記述	なぜ『アランプラ』という表現を選んだのかを考える	設問の『どのような思いを表すためにこの表記にした』という質問に注目する必要あり。
	2	書き抜き	アランプラ宮殿のたたずまいの想像をどう表現しているか	宮殿の想像内容を、『直喩』を用いて表している点を見抜く
	3	書き抜き	筆者の感想の理由を探し、書きぬく	文章の空欄を補充して、文章を完成させるタイプの問題なので、文意が成り立つよう補充する。
	4	書き抜き	詩の内容にあてはまる内容を探し、書きぬく	『さがすことも』の『も』に着目し、直前の『好きだ』を導く
	5	語句の意味	文の内容にあてはまる形容詞を選び取る	文中の『子供の頃の～』という表現のイメージに最も合致する表現を選ぶ
大問2 小説	1	漢字の読み	文章中にある単語を適切に読む	日々の学習の中で、読めない・わからない表現を丁寧に調べていく姿勢が重要
	2	品詞	『ない』の品詞の種類を把握する	『ならない』の『ない』は助動詞で、同じ助動詞のものはウとエが正解
	3	記述	小説中より、『真っ暗にする』ためにしたことをまとめる。	『遮光カーテン』と『暗幕』だけでは足りず、さらに『隙間をテープでふさいだ』ことまで記述する
	4	記号（内容理解）	登場人物の心情の違いを整理する	文中で『ドキドキするけれど～』と思っているのが『わたし＝葉』であると読み解く
	5	記号（内容理解）	正しい情景描写を読み解く	それぞれ文中の『小さい音で雅楽が～』『白檀、～は乳香で』という表現を読み解く
	6	記述	作中での大きな心情の変化の具体的な内容と、変化の理由を記述する	わたし（葉）のセリフ『～今を切り取るため～』と、『暗くて静か～いられない』という表現から解答を導く
	7	記号（内容理解）	人物の心情を正確に理解し、ふさわしい内容を選ぶ	作中の『いよいよ本番だね』『きつとうまくいくよ』などのセリフから、わたしを含めた部員全体の期待感が高まっていることを読み解く
大問3 古文	1	記号（知識）	陰暦の読み方	旧暦の読み方の知識。古文に関する暦や十二支等の知識は入試でも出題されるので、こまめな学習が重要
	2	書き抜き	文中の会話文を探し、書きぬく	古文の会話文は『、』と『と』の間にあることが多いが、ここでもその知識が使える
	3	現代仮名遣い	漢字も含めた表現を、適切に現代仮名遣いに直す	語頭・助詞以外の『は・ひ・ふ・へ・ほ』は『わ・い・う・え・お』に書き換えるなどの基本的な知識を再確認
	4	記号（内容理解）	人物の心情を正確に理解し、ふさわしい内容を選ぶ	翁の、『わが丈立ち～ゆるさむや』という発言から心情を読み取る
	5	記述	行動している人物と、その行く場所を記述する	『竹取物語』というストーリーの性質上、比較的予想は容易だったかと思われる
大問4 説明文	1	漢字の書き	文中の表現を正しい漢字に書き換える	漢字の書き問題は必ず出ます！日々の学習で、正しい漢字を書く習慣を。
	2	言葉の意味	文中の表現の意味を正しく理解する	『つぶさに』は『こまかく』という意味。
	3	接続詞	文章の前後、および段落の役割から正しい接続詞を選ぶ	『たとえば』は具体例を示す際に、『しかし』は前の内容と反する内容が来る接続詞。
	4	指示語	指示語の内容が、それよりも前にあると理解し、選択する	指示語の内容は『それよりも前にある』ことが鉄則
	5	記述	人間の認識・判断における疑問点をまとめる	波線部直後の『なぜならば』という接続語から解答の核を探す。『ボールの中間の形』であることの明記は必須
	6	書き抜き	設問の表現が、文中のどの表現を言い換えたものかを探す	波線部直後に『記憶を目の前の状況に加える』とあり、それが13行目の『頭に思い浮かべて』という表現と合致する点がポイント
	7	記号（文章の構成）	文章の構成、筆者の書きぶりの特徴をつかむ	文末表現や『あなた』という読者への呼びかけから、筆者の意図を見抜く

学力Bテスト講評！

総括

大問1では、詩の中であえて省略されている情景や、背後にある情報を解説文と照らし合わせて見つけていく力が求められました。また、大問4では、『人間の認識のあり方』という比較的高度な内容が主題となっていました。共通の課題として、『限られた時間の中でいかに落ち着いて情報を処理できるか』があげられます。内容が高度になった時こそ、指示語・接続語の役割や、表現技法の内容・古典知識などの基本に立ち返り、確かな解答を組み立てていく意識が重要です。

学力Cテストに向けて

今回の国語は、Aテストに比べるとやや難しいと感じた人が多かったのではないのでしょうか。特に大問4では、『人間の認識・物事の分類』という、かなり抽象的かつ高度な内容を限られた時間で理解する必要に迫られ、なかなか歯ごたえがあったと思います。どの科目にも言えることですが、やはり『付け焼刃の知識』、『一夜漬けの努力』では対応できない問題が増えているのが現状です。では、国語において、少しでもできる努力は何か、となった時に、今からできる3つのことをみなさんと共有したいと思います。

- ①少しでも、日々のニュースや出来事に意識を向けてみる
- ②知らない言葉を見つけたら、その意味を調べてみる
- ③自分の好きなジャンルでいいので、『活字中心』の本を読んでみる

①については、入試の国語では自分の考え・意見を踏まえた作文をしますが、その際の題材は最近取り上げられたニュースや話題に沿ったものが多い傾向にあります。であれば、知らないことを一生懸命考えるのと、ある程度勉強したことをまとめるのでは、書きやすさは勿論、書かれた文章のクオリティも段違いです。

②については、今回の学力テストでも語句の意味を答える問題が出ています。語彙力は正確に文章を読む力にも直結するので、日々の学習の中で調べる習慣をつけてみてください。

③については、文章を読む一番の練習は、やはり『一つのテーマとしてまとめられた本をじっくりと読み切ること』だと考えています。運動と同じで、文章を読むことにも体力が必要で、その力を読書を通して身に付けてほしいと思っています。

もっと言うと、自分の知らない世界に手を伸ばす楽しさを知ってほしいです。

『テストの点数をとる』は当然の目的ではありますが、純粋に『知識を得て、それを自身の中で深めたり、他者と共有する』喜びをぜひ体験してほしいです。

メッセージ

受験本番まで残り5か月ほどとなりました！

大切なのは『自分が新しくできるようになったことに目を向ける』ことです！

たくさんの課題をこなす毎日の中で、たとえわずかでも、

着実に成長している部分が絶対にあります！！

不安を感じる時もあると思います。そんな時、『自分の出来なかったこと』だけを見て落ち込んでも仕方ありません！限られた時間で、いかに『出来ることを増やす』か、『やれることをしていくか』が重要です！

そのために、まずは学力テストの解きなおしをして、正答にならなかったところをしっかりと復習！難しいところはどんどん先生へ質問しましょう！

そして、次のCテストに向けた準備を整えていきましょう！

講師一同、最後まで皆さんと走り切ります！！